

# 芸術祭大賞映画の回顧

文化庁芸術祭は、「すぐれた作品をひろく一般に公開して芸術鑑賞の機運を醸成するとともに、芸術家に意欲的な公演発表をうながして芸術の創造と進展に寄与し、もって国民文化の向上をはかる」ために、戦後荒廃した焼土の中から誕生し、昭和21年(第1回)以来、毎年10月および11月に開催され本年は第30回を迎えました。

芸術祭の参加部門は演劇、音楽、舞踊等の9部門があり、このうち映画部門は日本劇映画(昭和23年度創設)、日本記録映画、外国映画(共に昭和32年度創設)に分けられ、毎年度、参加作品のうち優秀と認められた作品に対しては芸術祭大賞、芸術祭優秀賞が授与されて今日に至っております。

当フィルムセンターでは、芸術祭が本年30回を迎えたことに協賛して、これまでに大賞を受賞した映画の回顧上映を企画開催することにしました。ひろく映画愛好者のかたがたの御鑑賞をおすすめします。

フィルムセンター

日曜・祝日休館

午後3時・6時15分上映開始

一般100円・学生70円・小人50円

期 日	題 名	製作年	製作会社	監 督	出 演
10月16日	木 王 将	1948年	大映	伊 藤 大 輔	阪東妻三郎、水戸光子、三条美紀、滝沢修
17日	金 蜂の巣の子供たち	"	蜂の巣プロ	清 水 宏	島村修作、夏木雅子、御庄正一
20日	月 野良犬	1949年	東宝	黒 沢 明	志村喬、三船敏郎、木村功、千石規子
21日	火 { 遭 難 黒部峡谷	1957年	岩波 日映社	高 村 武 次 西 尾 善 介	
22日	水 帰 郷	1950年	松竹	大 庭 秀 雄	佐分利信、木暮実千代、津島恵子、山村聡
23日	木 麦 秋	1951年	"	小 津 安二郎	原節子、笠智衆、杉村春子、三宅邦子
24日	金 生きる	1952年	東宝	黒 沢 明	志村喬、小田切みき、金子信雄、藤原釜足
27日	月 { 法隆寺 富 士	1958年	岩波 日産業	羽 仁 進 赤 佐 政治	
28日	火 東京物語	1953年	松竹	小 津 安二郎	笠智衆、東山千栄子、原節子、香川京子
29日	水 二十四の瞳	1954年	"	木 下 恵 介	高峰秀子、田村高広、井川邦子、小林トシ子
30日	木 夫婦善哉	1955年	東宝	豊 田 四 郎	森繁久弥、淡島千景、司葉子
31日	金 { 秘境ヒマラヤ 山かげに生きる人たち	1960年	読売 英映画	中村正、大森栄 青 山 通 春	
11月4日	火 流れる	1956年	東宝	成 瀬 巳喜男	山田五十鈴、高峰秀子、田中絹代、栗島すみ子
5日	水 喜びも悲しみも幾歳月	1957年	松竹	木 下 恵 介	佐田啓二、高峰秀子、桂木洋子、田村高広
6日	木 彼岸花	1958年	"	小 津 安二郎	佐分利信、田中絹代、有馬稲子、山本富士子
7日	金 { 尾 瀬 ある機関助士 美しい国土	1962年 1963年 1964年	学研 岩波 東京シネマ	石 川 茂 樹 土 本 典 昭 山 添 哲	
10日	月 にあんちゃん	1959年	日活	今 村 昌 平	長門裕之、松尾嘉代、沖村武、前田暁子
11日	火 おとうと	1960年	大映	市 川 崑	岸恵子、川口浩、森雅之、田中絹代
12日	水 反逆児	1961年	東映	伊 藤 大 輔	中村錦之助、岩崎加根子、杉村春子、丘さとみ
13日	木 { 姫路城 伝統工芸・わざと人 ライチョウ	1965年 1966年 1967年	記録映画社 " ネル代協	上 野 耕 三 上 野 耕 三 下 村 兼 史	
14日	金 人 間	1962年	日活	新 藤 兼 人	殿山泰司、乙羽信子、佐藤慶、山本圭
17日	月 太平洋ひとりぼっち	1963年	日活	市 川 崑	石原裕次郎、森雅之、田中絹代、浅丘ルリ子

## 土曜特集：映画史上の名作

\*開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
10月18日(土)	幌 馬 車(無声)	米・1923年	ジェームズ・クルーズ	J・ウォーレン・ケリガン、ロイス・ウィルソン 大13キネ旬ベスト・テン1位
25日(土)	{ カリガリ博士(無声) 朝から夜中まで(無声)	独・1919年 独・1920年	ロベルト・ヴィーネ カール・H・マルティン	ヴェルナー・クラウス、コンラート・ファイト エルスト・ドイッチュ、エルナ・モレナ
11月1日(土)	サンライズ(無声)	米・1927年	F・W・ムルナウ	ジョージ・オブライエン、ジャネット・ゲイナー 昭3キネ旬ベスト・テン1位
8日(土)	靈魂の不滅(無声)	瑞・1920年	ヴィクトル・シェストレム	ヴィクトル・シェストレム、アストリッド・ホルム
15日(土)	青 い 鳥(無声)	米・1918年	モーリス・トゥルヌール	ロビン・マクドーガル、チューラ・ベル

東京国立近代美術館 フィルムセンター 中央区京橋3-11 地下鉄・京橋、宝町下車 TEL (561)0823

\*竹橋本館 9月27日~11月16日まで「シュルレアリスム展」開催